

2021年度第1回 医療法人社団主体会倫理委員会 会議記録の概要	
開催日時	2021 年 4 月 1 日 ～ 2021 年 6 月 9 日
開催場所	書類審議のため、全委員に閲覧
出席委員	市原、森、北村、原、種瀬、伊藤、大塚、清水、坂（敬略称、順不同）
新規研究計画の審議	
申請者	上田 奈央
研究名	回復期リハビリテーション病棟の療法士が作成する退院時申し送り内容の検討～認知機能が低下した骨折患者に着目して～
研究内容 要旨	当院回復期リハビリテーション病棟において、退院時に患者の状況について生活期のスタッフへ申し送りを実施している。今回、退院時の申し送りを実施しているリハビリスタッフに対して、申し送りの内容や写真、動画を使用した申し送りの必要性等について無記名のアンケート調査を実施する。また、申し送りを受ける側の現状等を把握するために生活期のスタッフに対しても無記名のアンケート調査を実施し、どのような情報を必要としているかを明らかにする。
審議結果	承認 2021-1
意見	「侵襲を伴わない研究であって介入を行わないものに関する審議」であり、「心理的苦痛を伴わないアンケート調査」と考えられたので、書類審議を行い、その結果承認とした。
新規研究計画の審議	
申請者	佐野 里夏
研究名	脳卒中ドライバーのスクリーニング評価日本版(J-SDSA)と神経心理学的評価の関連性の検討
研究内容 要旨	当院では自動車運転再開希望者に対して机上評価やドライビングシミュレータ評価、実車評価を行い、医学的観点から自動車運転再開に関して助言を行っている。当院の机上評価では神経心理学的評価と脳卒中ドライバーのスクリーニング評価日本版(以下、J-SDSA)がある。J-SDSA は、自動車の運転技能評価に特化した認知機能検査の1つである。実車評価が最終的な判断材料ではあるが、運転可能と予測する精度は神経心理学的評価で 60～80%、J-SDSAで76%と報告されている。そこで各神経心理学評価とJ-SDSAとの関連性を検討し、運転に必要な高次脳機能を抽出し、訓練や評価につなげることを目的とする。
審議結果	条件付き承認（確認は委員長一任） 2021-2
意見	「侵襲を伴わない研究であって介入を行わないものに関する審議」であり、「既存試料を用いて、集計・統計処理等を行うもの」と考えられたので、書類審議を行い、その結果承認とした。
修正箇所	当院ホームページ倫理委員会サイトURLの//が抜けているところを「http: www. をhttp://www.」に修正する。

新規研究計画の審議	
申請者	加藤 康太
研究名	当院回復期リハビリテーション病棟における転倒・転落アセスメントスコアシートと転倒・転落発生状況に関する実態調査
研究内容要旨	当院回復期リハビリテーション病棟において、転倒・転落アセスメントスコアシートを用いた転倒リスク評価を実施している。今回、転倒・転落アセスメントスコアシートと実際の転倒・転落発生状況に関する実態調査を実施する。
審議結果	条件付き承認（確認は委員長一任） 2021-3
意見	「侵襲を伴わない研究であって介入を行わないものに関する審議」であり、「既存試料を用いて、集計・統計処理等を行うもの」であると考えられたので、書類審議を行い、その結果承認とした。
修正箇所	本研究はインフォームドコンセントを受けずに実施する臨床研究のため、13. 研究に関する情報公開の方法の箇所で、「当院ホームページ倫理委員会サイト (http://www.ayutaikai.jp/rinnri/rinnri_top.htm) 上に情報を公開し」を追記すること。
新規研究計画の審議	
申請者	加藤 康太
研究名	当院回復期リハビリテーション病棟における大腿骨近位部骨折患者に対する栄養介入が日常生活に与える影響について
研究内容要旨	当院回復期リハビリテーション病棟における大腿骨近位部骨折の高齢者に対する栄養補助食品による栄養介入の効果と歩行能力の変化、および日常生活動作との関係について調査する。
審議結果	差し戻し
意見	<ul style="list-style-type: none"> ① 評価の時期が不明 ② 研究対象者が任務白血症になった場合の対応について ③ 血液データは入院時のみなのか、定期的には採取しないのか ④ 介入群での普段の食事摂取量が減少した際の対応, 弊害とコントロール群への配慮について ⑤ 栄養補助飲料の飲ませる頻度 ⑥ 鈴鹿医療科学大学から無償提供されるようだが、その見返りのようなデータ提供は無いのか ⑦ 栄養補助飲料の提供について 委員より以上のような欲見がありましたので、これらの意見について検討して頂き、再提出してください。